

第1学年 道徳科学習指導案

日 時 令和4年9月6日(火) 5校時

児 童 1年1組 22名

指導者 川原 知恵子

1 主題名 しんせつにすると 気持ちがいい 【B 6 親切, 思いやり】

2 教材名 「はしの上の おおかみ」(「新・みんなのどうとく 1」 学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値観

学習指導要領第1学年及び第2学年の内容の「B 主として人の関わりに関すること」の「6 親切, 思いやり」は「身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること」とある。これは, より良い人間関係を築く上で求められる基本的な姿勢として, 相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることの内容項目である。この内容項目は, 次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。	相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	誰に対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にすること。	思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。

人との円滑な人間関係を築くためには, 相手に対する思いやりや親切な心を持つことが基本となる。そのためには, 自分の思い込みや自己満足のためではなく, 相手の立場に立ってその心情を思い, 自分のこととして受け止めることが大切である。そこで, 入学して, 様々な人との関わりが広がり, 学校, 学級での生活が身に付いてきている児童が, 相手のことを考える温かい気持ちや親切な行為について考えられるようにしたい。そして, 親切にした方もされた方も温かい気持ちになり, 人間関係を和やかなものにしていくことに気付かせていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は, 学校生活にも慣れ, のびのびと生活している。その反面, 自己中心的な行動が見られる児童も多く, トラブルも少なくない。帰りの会では親切な人や頑張った人を紹介するコーナーがあり, 親切な行動を発表することに意欲的である。しかし, まだ児童が行う親切な行動は, 褒めてもらえる, 認めてもらえるという気持ちが大きい。相手の感謝の思いや喜びを自分事として受け止め, 親切にする気持ちよさや嬉しさに気付かせていきたい。

(3) 教材観

本教材は, 自分より弱い動物たちに意地悪をして面白がっていたおおかみが, 強くて大きくなるときに親切にされたことをきっかけに, 親切にすることの素晴らしさに気付いていくという内容に

なっている。場面ごとに変化していくおおかみのものの見方、感じ方、考え方などに共感させることを通して、親切にすることの大切さに気付かせたい教材である。また、人に優しく接する態度は、自分にとっても快いことに気付かせることもできる教材である。

4 本時の指導

(1) ねらい

親切にしたときの気持ちよさを知り、誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる。

(2) 本時の手立て

①少人数における話し合いの手立て

・多様な考えに触れさせるため、話しやすいペア学習を取り入れる。

②全体の話し合いの手立て

・切り返しの発問を行い、価値に対する考えを深める。

(3) 展開

	学習活動 発問 (○) 主発問 (◎)・予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価
つかむ 5分	1 教材への関心を高める。 ・これまでの経験を想起し、学習のめあて持つ。 ○親切にしてもらおうとどんな気持ちになりますか。 C 嬉しい。 C 自分も、親切にしたいくなる。	・親切にしてもらおうと嬉しい気持ちになることを押さえる。
深める 35分	2 教材文を基に話し合う。 (1)教材文を読む。 (2)おおかみの気持ちの変化を中心に考える。 ○うさぎに通せんぼうをしているとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。 C いい気分だな。もっと意地悪してやろう。 C おれのほうが強いぞ。 ○どうしておおかみは「わたしがもどります。」と言ったのでしょうか。 C くまは自分より大きいから。 C くまは強いから。	・ペープサートを活用する。 ・意地悪を楽しむおおかみの気持ちを捉えるために、おおかみの言葉を唱え、動作化する。 ・うさぎの気持ちにもふれる。 ・弱い者への接し方と、強い者への接し方が違うことを抑える。

	<p>◎おおかみは、どのような気持ちでくまの後ろ姿を見ていたのでしょうか。</p> <p>・シートの吹き出しに考えを書く。ペアで考えを交流した後、発表する。</p> <p>C 嬉しいな。くまさんありがとう。</p> <p>C くまさんは強いのに優しいな。</p> <p>C ぼくもくまさんみたいにしたいな。</p> <p>切り返し</p> <p>○どんなことが嬉しいの。</p> <p>○くまさんみたいに、どんなことをしたいの。</p> <p>○意地悪をしたときの嬉しい気持ちと、今の嬉しい気持ちは、どちらがうの。</p> <p>(3)道徳的価値について考える。</p> <p>○まえよりもずっといい気持ちになったのはなぜでしょう。おおかみの気持ちを考えましょう。</p> <p>・役割演技をする。</p> <p>⑤C うれしいな。</p> <p>⑤C おおかみさん本当は優しいんだ。</p> <p>⑥C よろこんでくれてよかった。</p> <p>⑥C 親切にすると、きもちがいいな。</p> <p>⑥C くまさんみたいに優しくできた。</p>	<p>・シートに書くことで、自分の考えを表現させる。</p> <div data-bbox="995 300 1437 517"> <p>〈対話的な学び〉 ペア学習を取り入れ、友達の考えを聞き多様な考えを知る。 〈手立て1〉</p>  <p>多様な情報を収集する</p> </div> <div data-bbox="995 539 1437 757"> <p>〈対話的な学び〉 切り返しの発問を行い、価値に対する考えを深める。 〈手立て2〉</p>  <p>共に考えを創り上げる</p> </div> <p>・おおかみの気持ちの変化をとらえさせるために、役割演技を行う。 (うさぎ：児童，おおかみ：教師)</p> <p>・役割演技を見ている児童に、おおかみがどんな気持ちかを聞く。</p> <p>・親切にすると相手も自分も気持ちいいことをおさえる</p>
<p>振り返る 5分</p>	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○おおかみのように、「親切にしていい気持ちになった」ことや「親切にしてよかった」と思ったことはありますか。</p> <p>C 給食をこぼした時一緒にふいてあげた。親切にできていい気持ちだった。</p> <p>C 弟がころんだとき、おんぶして家まで連れて行った。ありがとうって言われて嬉しかった。</p>	<p>◇評価</p> <p>・誰にでも思いやりの心をもって接しようとしているか。</p> <p>(発表)</p>  <p>振り返って次へつなげる</p>

(4) 板書計画

